

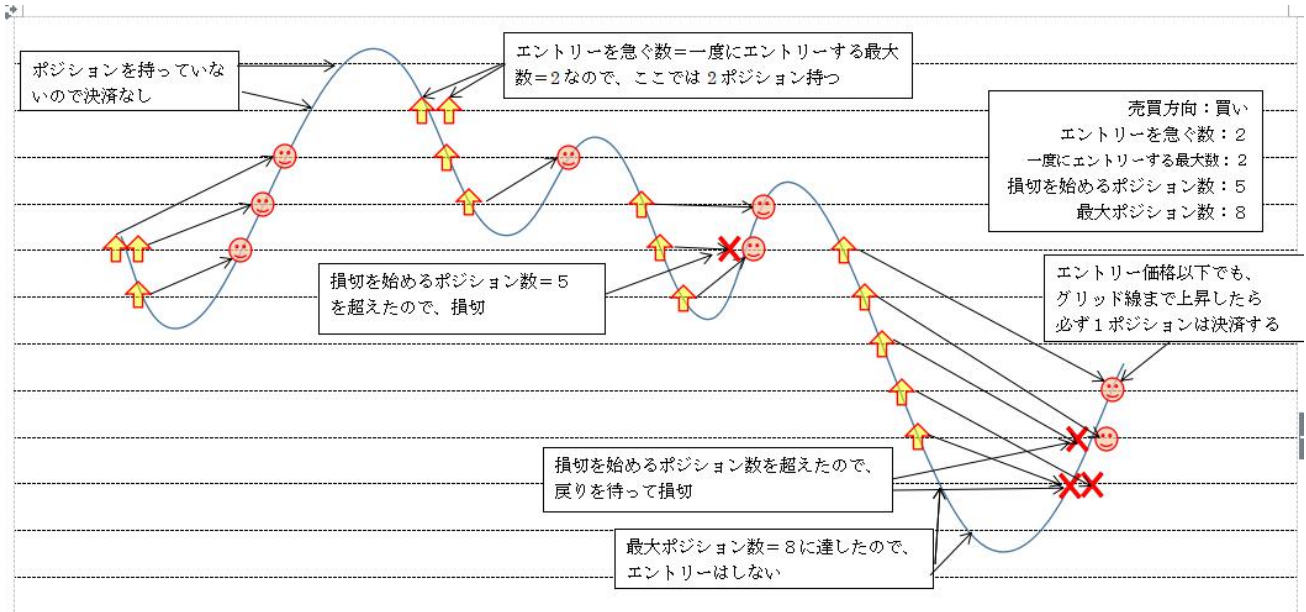
Piyo_Grid 取扱説明書

- Piyo_Grid(以下本 EA)の御使用前に、設定ミス等で予期せぬ損失を避けるためにこの取扱説明書を良くお読みください。
- 本 EA は確実な利益を保証するものではありません。
- 本 EA の御使用による損失およびパソコンに起こった不具合等について当方は一切の責任を負いかねますので、必ず自己責任の下、御使用ください。
- リアル口座における取引を行う前に、バックテストやデモアカウントにて取引を行い EA の作動を理解されることをおすすめします。

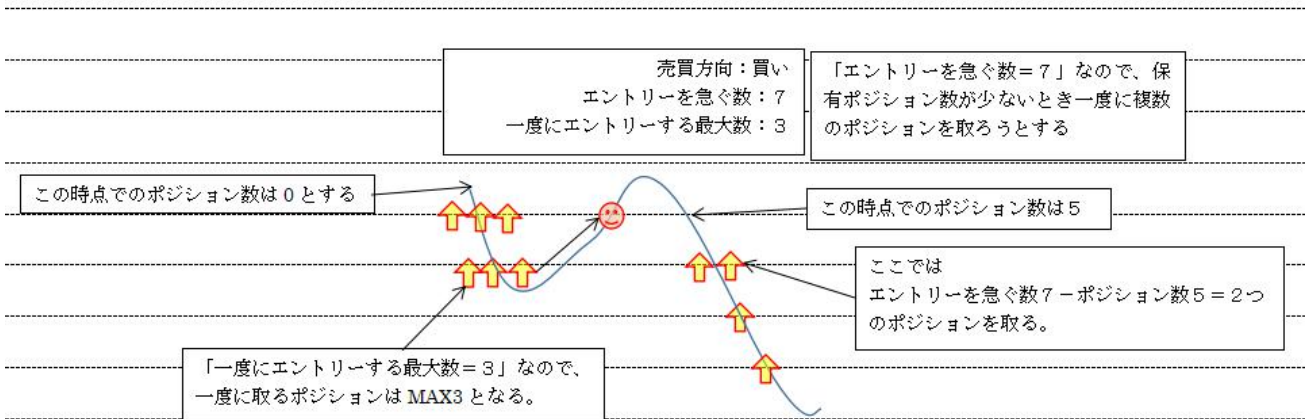
●Piyo_Grid の基本

- ✓ 「ループイフダン」や「トラップリピートイフダン (トラリピ)」と同様「一定の間隔で下がったら買い、上がったなら売るを繰り返す」というシンプルなロジックです。
- ✓ このようなトレード手法を一般に「グリッドトレード」と呼びます。
- ✓ 固定の値幅で売買を繰り返すため「5pips 下がるごとに買い、10pips で利確」という設定はできません。ナンピン幅と利確幅はイコールとなります。「ループイフダン」に近いロジックです。
- ✓ もし「5pips 下がるごとに買い、10pips で利確する」ということをしたいときは二つの EA を「基準価格」を 5pips ずらして同時稼働することで実現できます。
- ✓ 「エントリーを急ぐ数」を設定することで、保有ポジション数が少ないときより多くのポジションを取ります。このためトレンドフォロー的運用もできます。(オススメ)
- ✓ 損切ロジックも独自のものを備えています。一定の価格まで逆行したら直ちに損切るのではなく、グリッド幅分の戻りを待って損切します。そのためより有利な位置での損切となりやすいです。
- ✓ 損切は「1 グリッド分の戻りで 1 ポジション。連続 2 グリッド以上戻った時 2 ポジション余計に決済する」というルールとなっています。これにより下落トレンドもポジションを調整しながら、底を取りに行けます。
- ✓ 基本的には、ポジションを持った状態でグリッド幅分順行した場合必ず決済します。これを「通常決済」と呼びます。「エントリー時の価格」より低い価格で通常決済となることを「通常決済損切」と呼びます。このタイプの損切の可否も設定可能です。
- ✓ 決済エントリーする 「最高価格・最低価格」 が設定できます。これらの価格以上・以下の時はエントリーをしません。
- ✓ 一括決済・EA 稼働停止価格 を設定できます。これは指値として現在価格より有利な価格に指定します。この価格まで到達したらすべてのポジションを決済し、EA の稼働を停止します。

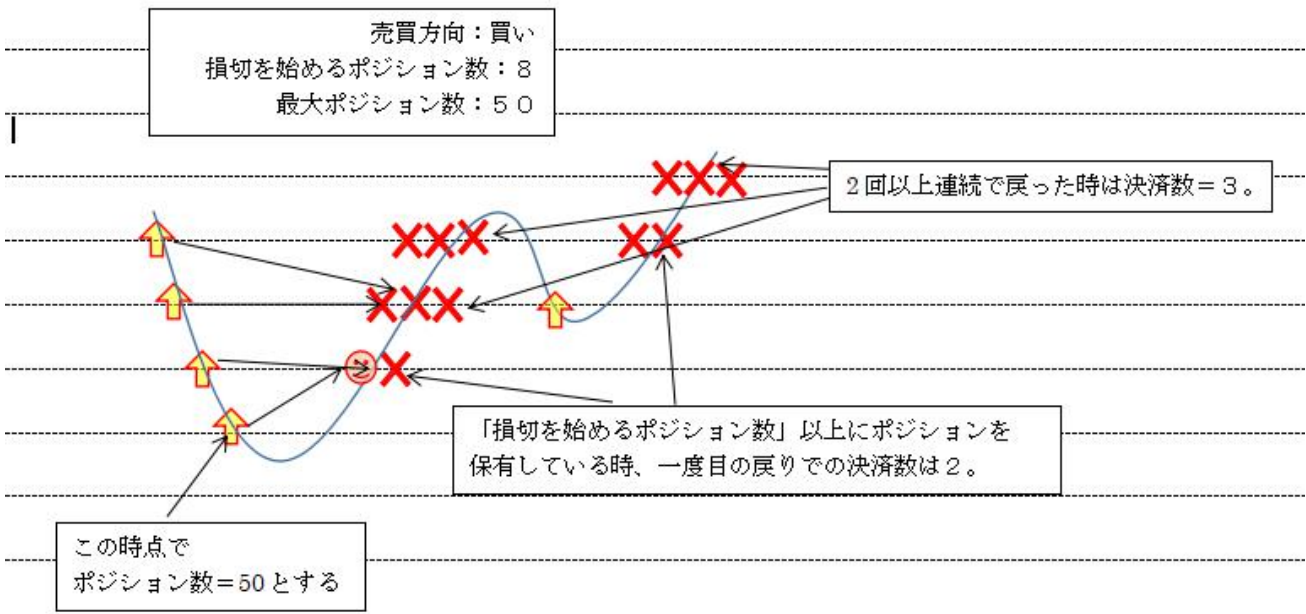
次ページより図で説明します。



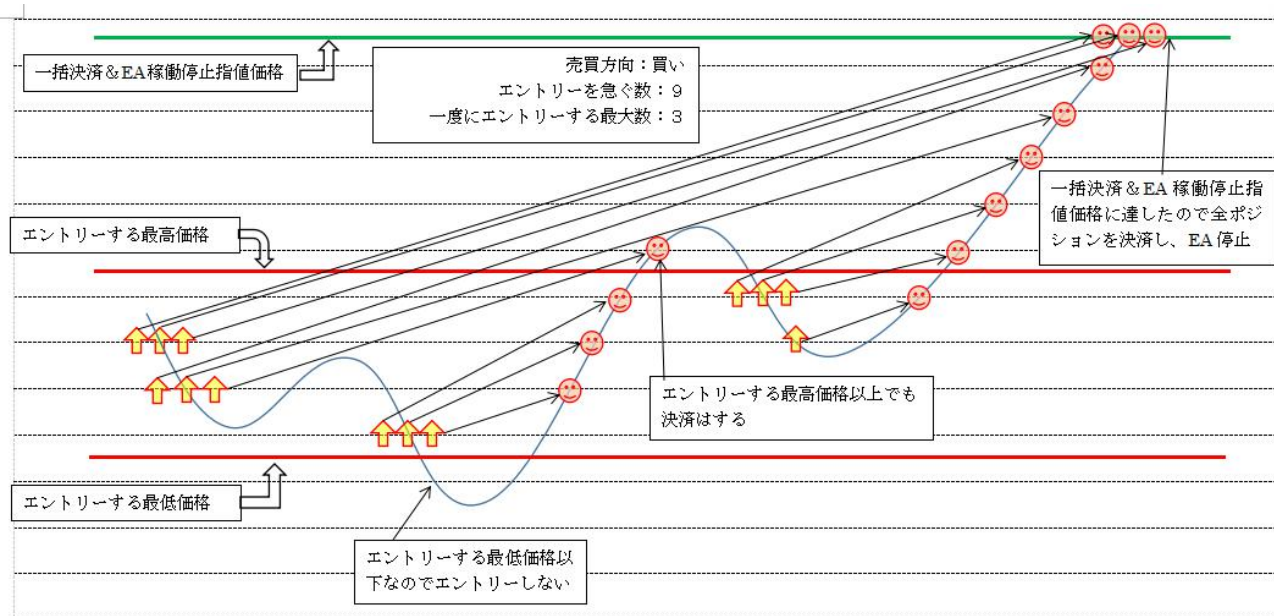
エントリーの仕方の説明



損切の仕方の説明



エントリーライン、一括決済ラインの説明



- 使用する通貨ペア：すべての通貨ペア
ただしレンジ狙いなら豪ドル/NZドルがおすすめです
- 使用するチャートの時間足：売買の様子が見やすい足であれば何でも OK
- 使用可能な FX 会社：基本的には、1point = 0.1pips つまり、ドル円が 109.123、ユーロドルが 1.11123 と小数点以下の桁数が 3 または 5 桁表示される証券会社であればどこでも使えます。
しかし、ポジション当たりの通貨数は少なくしてリスクを減らしたいと考えるならばオススメなのが XMTrading 社のマイクロ口座です。XMTrading 社のマイクロ口座は最低 10 通貨から取引ができるため、テスト運用にも低リスク運用にも最適です。

各パラメーターの内容

- マジックナンバー：マジックナンバー（注文を識別するための数字）です。別の EA と重複しないことはもちろん、おなじ EA (Piyo_Grid)でも通貨ペアや売買方向が違う場合は必ず別の番号を指定してください。（口座が違う場合は同じマジックナンバーでも問題ありません）
- 売買方向：売買（エントリー）する方向です。
- 売買ロット数：1 ポジション当たりのロット数です
- グリッド幅(pips)：売買をする Grid ラインの幅です
- Grid の基準価格：この価格を基準としてグリッド幅ごとに売買をしていきます。例えば、ドル円においてグリッドの幅を 100pips に設定し、Grid の基準価格を 0.000 円に設定した場合、100.000 円,101.000 円,102.000 円・・・において売買します。Grid の基準価格を 0.500 円に設定した場合、100.500 円,101.500 円,102.500 円・・・において売買します。このように基準価格を中心に売買ラインを設定します。
- 稼働開始時ポジションを取るか：「取る」の場合、稼働開始時にグリッドラインとは無関係に成行でポジションを取ります。
- エントリーを急ぐ数：この設定値以下の時エントリー時のポジション数を増やします。（説明図参照）
- 一度にエントリーする最大数：エントリーを急ぐ数を設定したとしても、一度にエントリーする数はこれ以下となります。
- 損切を始めるポジション数：ポジション数がこの設定値以上になったら戻りを待ってポジション数を減らします。（説明図参照）
- 最大ポジション数：保有する最大のポジション数です。
- 通常決済手法による損切の有無：通常決済損切をするかどうか。デフォルトの「通常決済損切をしない」の場合、グリッド幅の 1/2 以上の利益が乗った状態のポジションしか決済しません。（スワップ損益は無視）
- 許容スリッページ(pips)：許容スリッページ(pips)です。
- 13. エントリーする最高価格：これ以上の価格ではエントリーしません。設定値=0 の時、エントリーする最高価格・最低価格」の機能は無効となります。「エントリーする最低価格」のみ指定しても機能が働かないためご注意ください。**
- エントリーする最低価格：これ以下の価格ではエントリーしません。
- 一括決済&EA 稼働停止指値価格：この価格に達した場合全ポジションを決済し、EA の稼働を停止します。

Q&A

Q1：入るべき買い注文が入らない

A1:MT4 のチャートは業者にもよりますが、一般に Bid（売り）価格で表されます。買い注文はチャートで表示されている価格よりスプレッド分だけ上の位置で約定します。チャートを見ると「ここで買い注文が入っているはずなのにおかしいなあ」と感じることもあるかもしれませんが、それはスプレッドを考慮していない可能性があります。ご確認ください。

Q2：損切をしないように設定したはずなのに損切が発生した

A2：損切をしたくない場合は

- 1：「損切を始めるポジション数」を最大ポジション数以上にする
 - 2：「通常決済手法による損切の有無」を「通常決済損切をしない」に設定する
- この二つの設定をします。

しかしこちらの設定をしても、「損益がマイナスとなる決済」は発生することがあります。それはマイナススワップを長期間払い続けたときです。トレードにおいては利益が出ていてもマイナススワップを払い続けたことにより損益がマイナスになってしまうということです。なるべくプラススワップの通貨ペア・売買方向においてトレードをすることをお勧めします。